

学習指導案

科目名	情報の科学	担当者		実施日	令和 5 年 7 月 12 日				
単元名	情報システムが支える社会	2	時間目 /	10	時間数				
主題	人間の生活や社会全体への影響								
本時間の学習目標	・情報化が人間に及ぼした健康被害や社会的な影響について理解し、これからの情報機器の使い方について理解を深める。								
段階	分	内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点	評価				
					具体の評価規準との対応				
					関	思	技	知	評価方法
導入	10	本時の目標につなげる	①「ネット依存」についてみる。 ・ネット依存になるとどうなるかふれ、自分たちの生活にどのような影響を及ぼすか考える。 ・自分が1日にどれくらいスマホにふれているか ②メディアの影響について ・スマホが自分の生活にどう影響しているかを振り返り、情報化が及ぼした健康被害や、メリット、デメリットも含め影響について考える。(ワークシートに書き込む)	・ネット依存が自分たちにとって良くないものと認識させる。 ・自分の生活を振り返り、どのくらいスマホに触っているか、スクリーンタイムなども活用しながら、考える。 ・自分の生活からどうスマホによって、持つ前後を比べることをさせながら生活が変化したか考えさせる。	○				ワークシート
	10	ネット依存について	・導入で考えたことを周りと交流する。 ・教科書の端にあるネット依存チェックリストを見て、自分自身どうか振り返る。 ・依存症、不安症、VDT症候群について知る。 また、テクノストレスについても触れる。(テクノストレスに触れてから、3つの症状について考える。)	・積極的に意見を出し合える雰囲気を作る。 ・教科書に書いてあることを通してネット依存の怖さを理解させる。(例や動画を見せながら)			○	○	交流の様子
展開	20	情報メディアの影響を考える。	・情報メディア産業の中の、インターネットの利用の傾向をグラフから読み取る。この時、4～5人班を作り、考える。 →模造紙にマインドマップの形で根拠を含め、書いてもらう。(著作権侵害やトレードオフについても触れさせる。) ・話し合い後、全体交流をし、考えをまとめる。 (ワークシートに書くことも伝える)	・グラフを提示して、考えを共有しやすくする。 ・積極的に意見を出し合える雰囲気を作る。 ・教科書のグラフから根拠をもって、説明できるように指導する。		○		○	模造紙、発表の様子
	10	本時のまとめ	1時間の振り返りをする。 ワークシートにわかったことと感想、自分の生活で気を付けていきたいことをまとめる。	なぜそう考えるか、理由を含めて書くよう指示する。	○			○	ワークシート